



児童福祉施設等・公衆浴場及びホテル等に適用

I-8

浴室

基本的な考え方

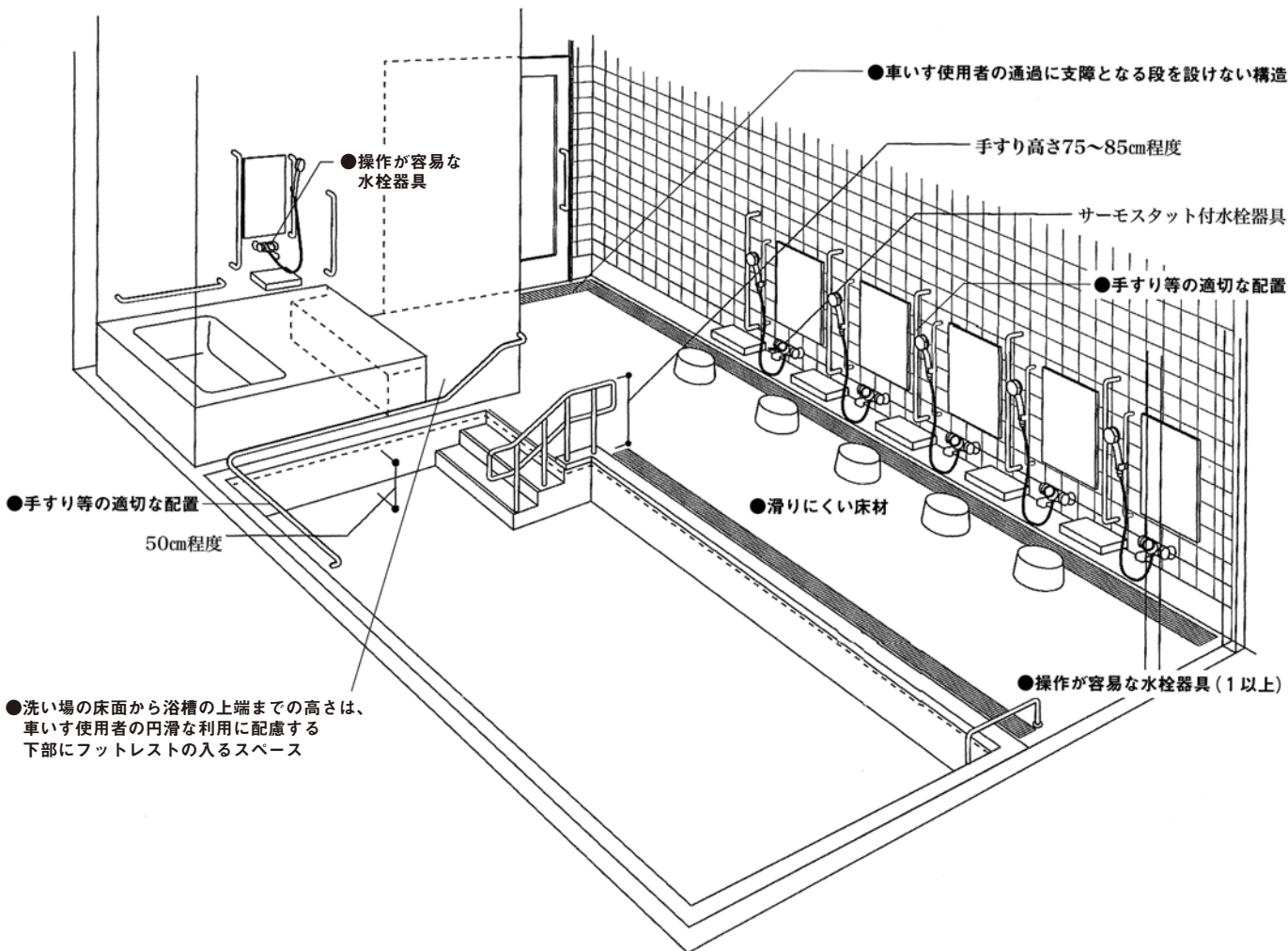
浴室は、障害者、高齢者等にとって転倒などが多い場所であるため、利用者の利用に供する浴室は、手すり等の適切な配置、操作しやすい水栓器具の設置など、障害者、高齢者等が円滑かつ安全に利用できるよう配慮することが必要です。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
<p>浴室 (客室内を除く)(1以上<男子用女子用の区分があるときは、それぞれ1以上>))</p>	<p>◆脱衣場及び洗い場の出入口の構造◆</p> <ul style="list-style-type: none"> *有効幅 80cm以上 *車いす使用者の通過に支障となる段を設けない構造 *自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に利用できる構造の戸 <ul style="list-style-type: none"> ●脱衣場、洗い場及び浴槽における手すり等の適切な配置 ●操作が容易な水栓器具(1以上)の設置 ●滑りにくい材料による床面の仕上げ ●洗い場の床面から浴槽の上端までの高さは、車いす使用者等の円滑な利用に配慮 	<p>*90cm以上</p>

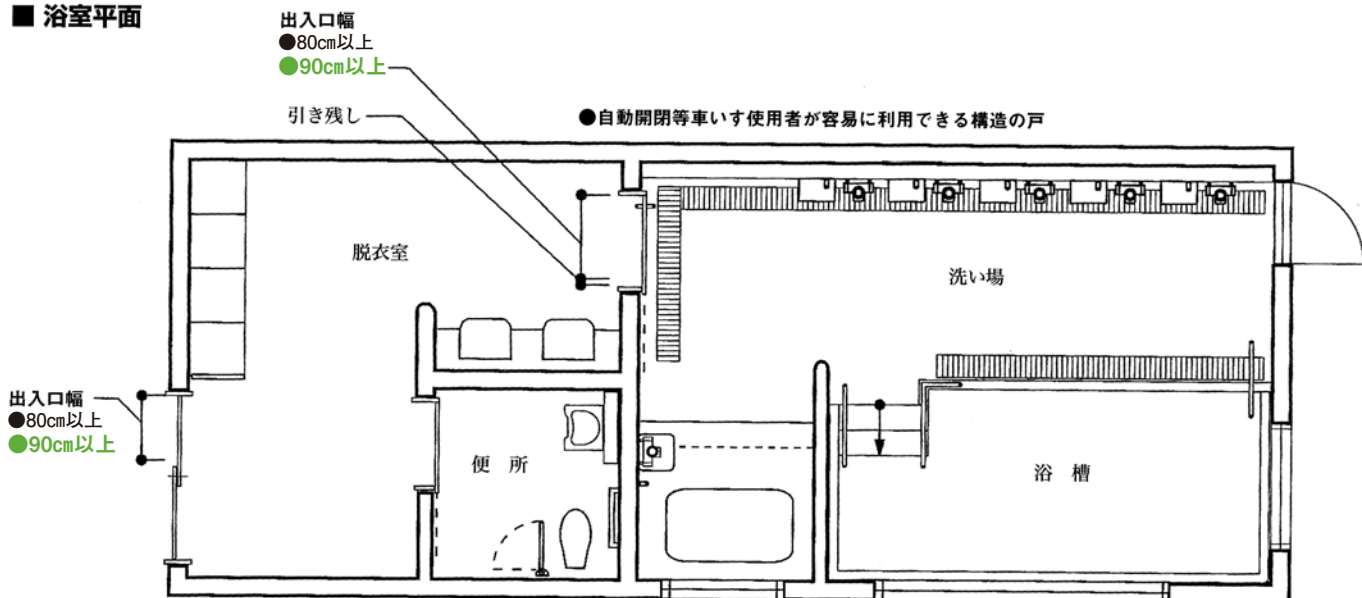
解説 ●浴室に関する整備基準は、多数の者の利用に供する浴室を設ける場合に適用される。したがって、従業員用の浴室のみを設ける場合などには適用されない。

●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

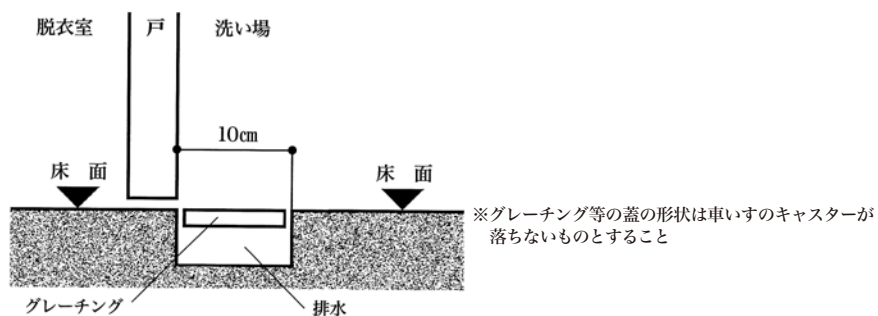
■ 浴室



■ 浴室平面



■ 出入口段差解消





体育館、水泳場、ボーリング場その他スポーツ施設に適用

I-9

更衣室及びシャワー室

基本的な考え方

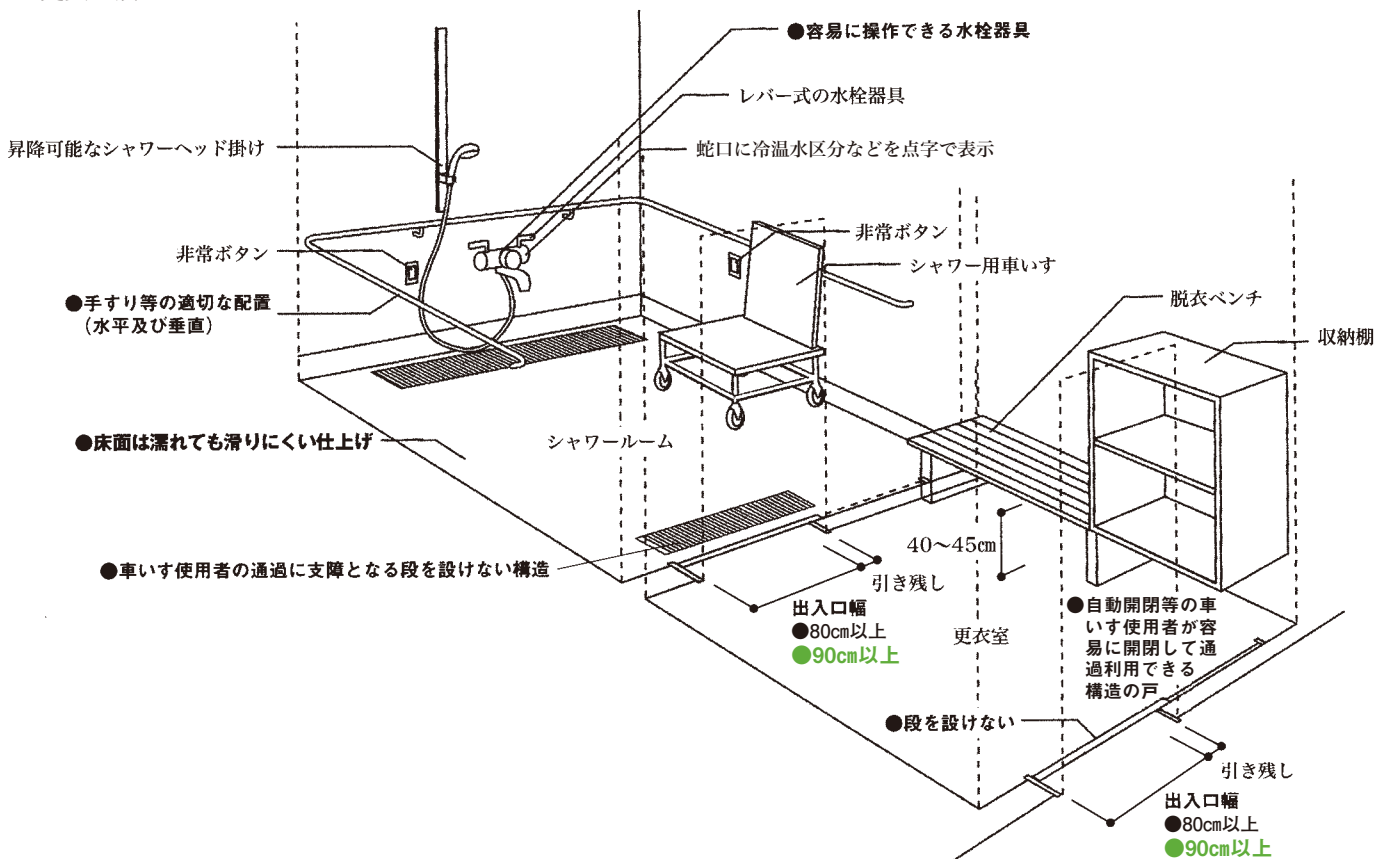
障害者、高齢者等のスポーツ活動が活発化しており、スポーツ施設の更衣室及びシャワー室は車いす利用者でも利用できるような床面積を確保することに加えて、安全に利用できるものとするよう配慮することが必要です。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
<p>更衣室及びシャワー室（1以上〈男子用女子用の区分があるときは、それぞれ1以上〉）</p>	<p>◆更衣室及びシャワー室の出入口の構造◆</p> <ul style="list-style-type: none"> *有効幅 80cm以上 *車いす利用者の通過に支障となる段を設けない構造 *自動的に開閉する構造その他の車いす利用者が容易に利用できる構造の戸 <ul style="list-style-type: none"> ●車いす使用者が利用することができる床面積が確保され、かつ、手すり等が適切に配置された1以上の更衣用区画及びシャワー用区画の設置 ●操作が容易な水栓器具 ●滑りにくい材料による床面の仕上げ 	<p>*90cm以上</p>

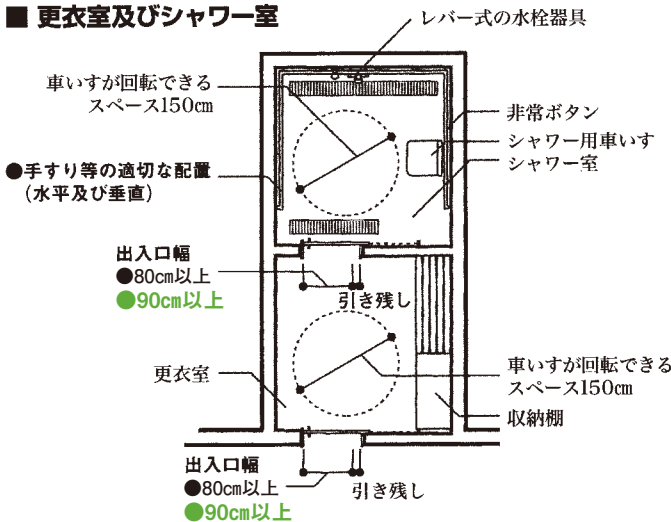
解説 ●更衣室及びシャワー室に関する整備基準は、多数の者の利用に供する更衣室及びシャワー室を設ける場合に適用されるものであり、従業員用の更衣室及びシャワー室のみを設ける場合などには適用されない。

●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

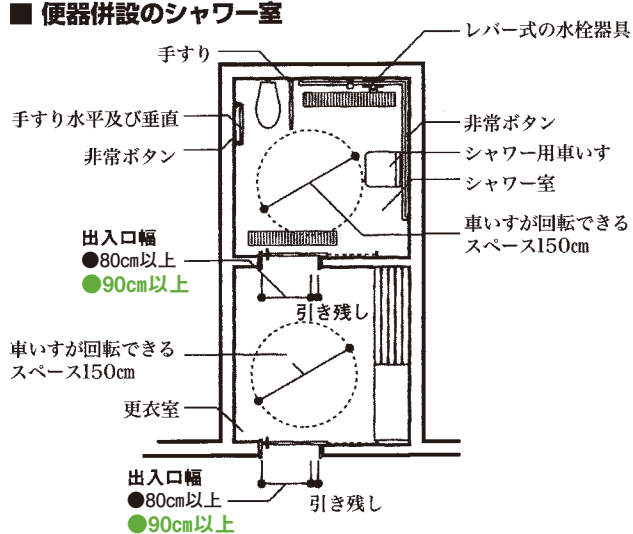
■ 更衣室及びシャワー室



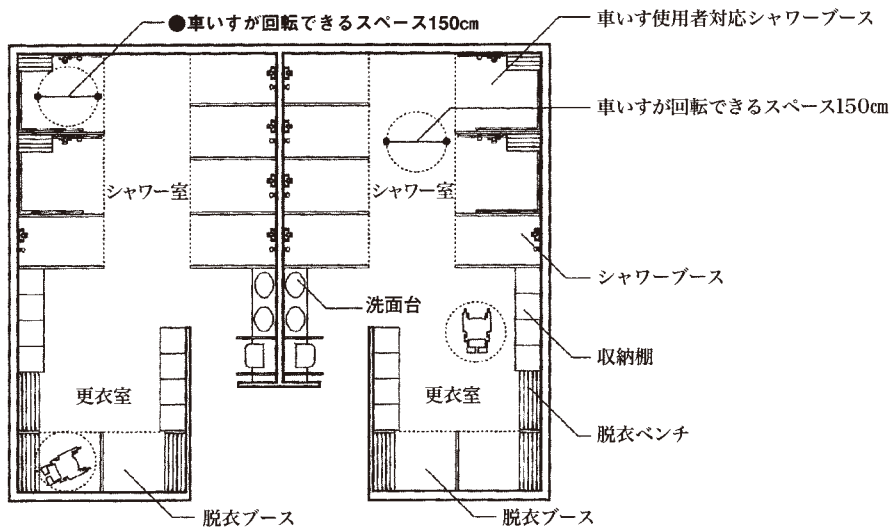
■ 更衣室及びシャワー室



■ 便器併設のシャワー室



■ 更衣室及びシャワー室





ホテル等に適用

I-10

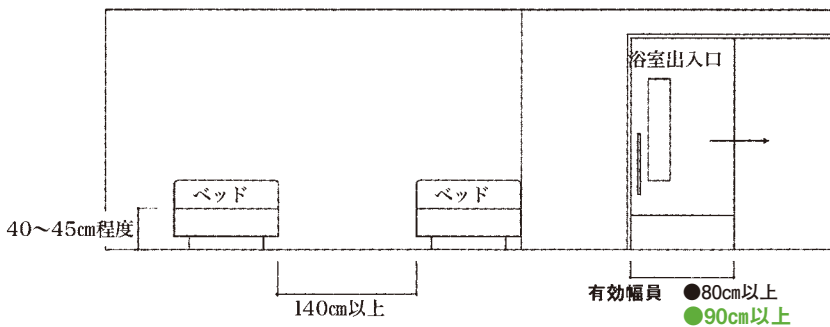
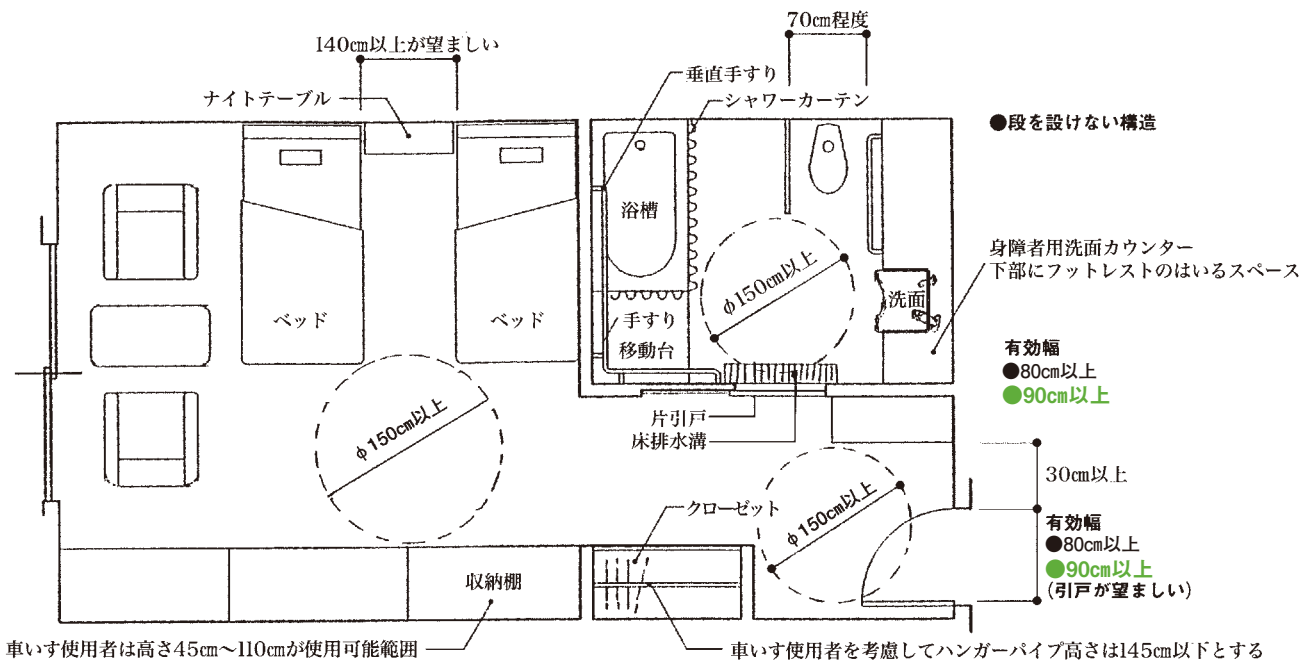
客室

基本的な考え方▶

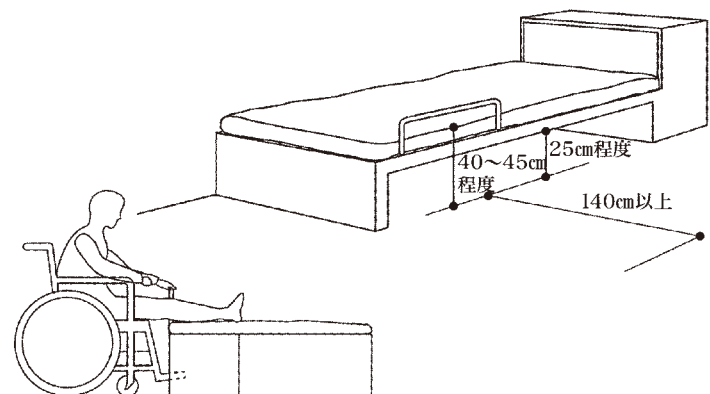
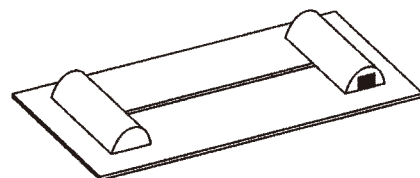
障害者、高齢者等の社会参加を促進するためにも、段差の解消、便房の設置、客室の広さなどについて、車いす使用者の利用に配慮した客室を整備することが必要です。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
客室	<p>●設置数 <u>1以上</u>設置</p> <p>◆<u>出入口の構造</u>◆</p> <ul style="list-style-type: none"> *有効幅 <u>80cm以上</u> *車いす使用者の通過に支障となる段を設けない構造 *自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に利用できる構造の戸 <p>●車いす使用者用便房の設置(客室の外部に客室の利用者の利用に供する車いす使用者用便房を設ける場合においては、この限りでない)</p> <p>●車いす使用者の利用に配慮した浴室の設置(客室の外部に客室の利用者の利用に供するI-8(建築物の浴室)を設ける場合においては、この限りでない)</p> <p>●車いす使用者が円滑に利用出来る室内の空間の確保</p>	<p>●客室の総数が200以下の場合はその数の1/50以上設置又、200を超える場合はその数の1/100+2以上設置</p> <p>*90cm以上</p>
解説	<p>●客室は、様々な平面計画が想定されるため、床面積の具体的な数値等を示してはいないが、車いすの転回ができるスペースを確保することが重要である。</p> <p>●客室の外部に、車いす使用者用便房や、整備基準に適合した浴室が設けられている場合は、必ずしも客室内にこうした便房や浴室を整備する必要はない。</p>	

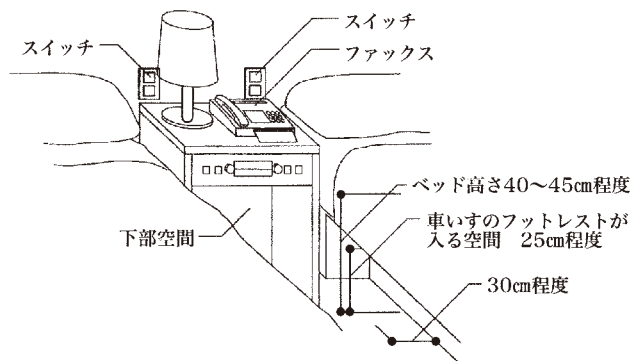
●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容



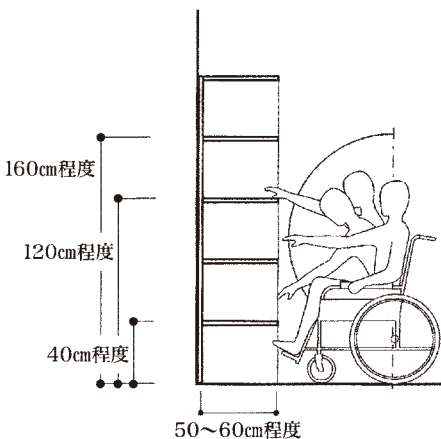
■ 聴覚障害者用バイブレーター例
タイマーのセットで目覚まし時計や警報音などを振動で知らせるもので枕の下に設置する。



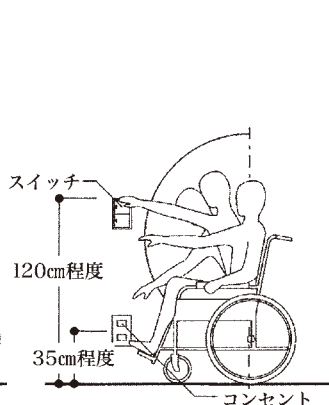
■ ベッドの高さ及びベッドサイドキャビネット周辺



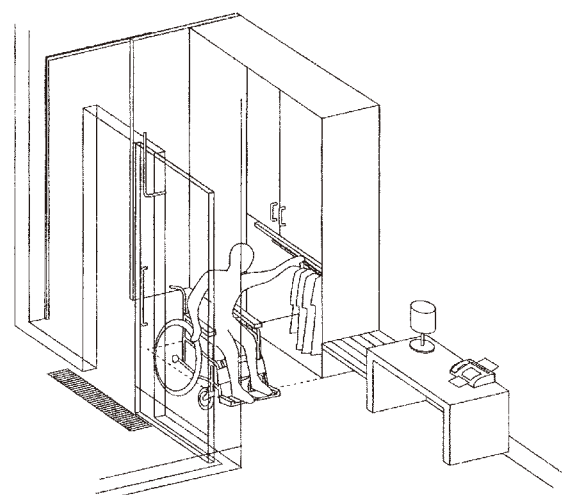
■ 収納棚の高さ



■ スイッチ、コンセントの高さ



■ ワードローブ(洋服ダンス)





集会場等、劇場並びに体育館、水泳場及びボーリング場その他スポーツ施設に適用

I-11

客 席

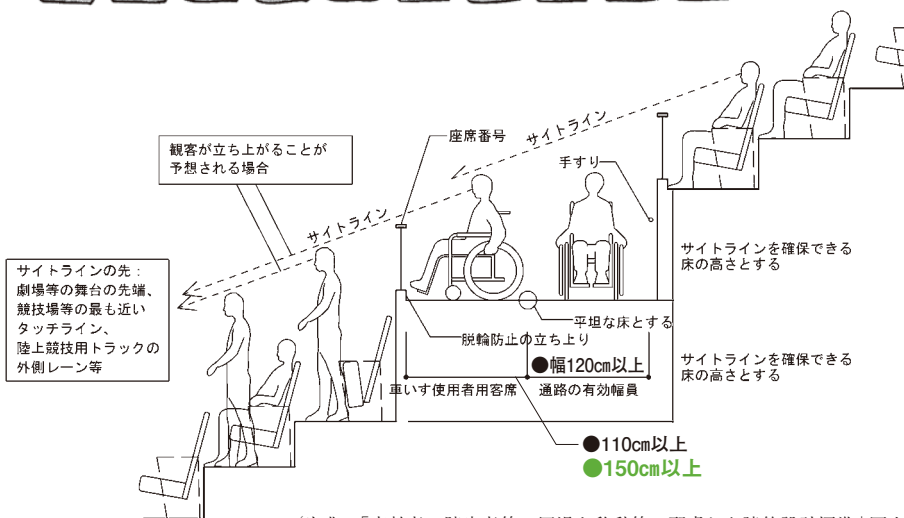
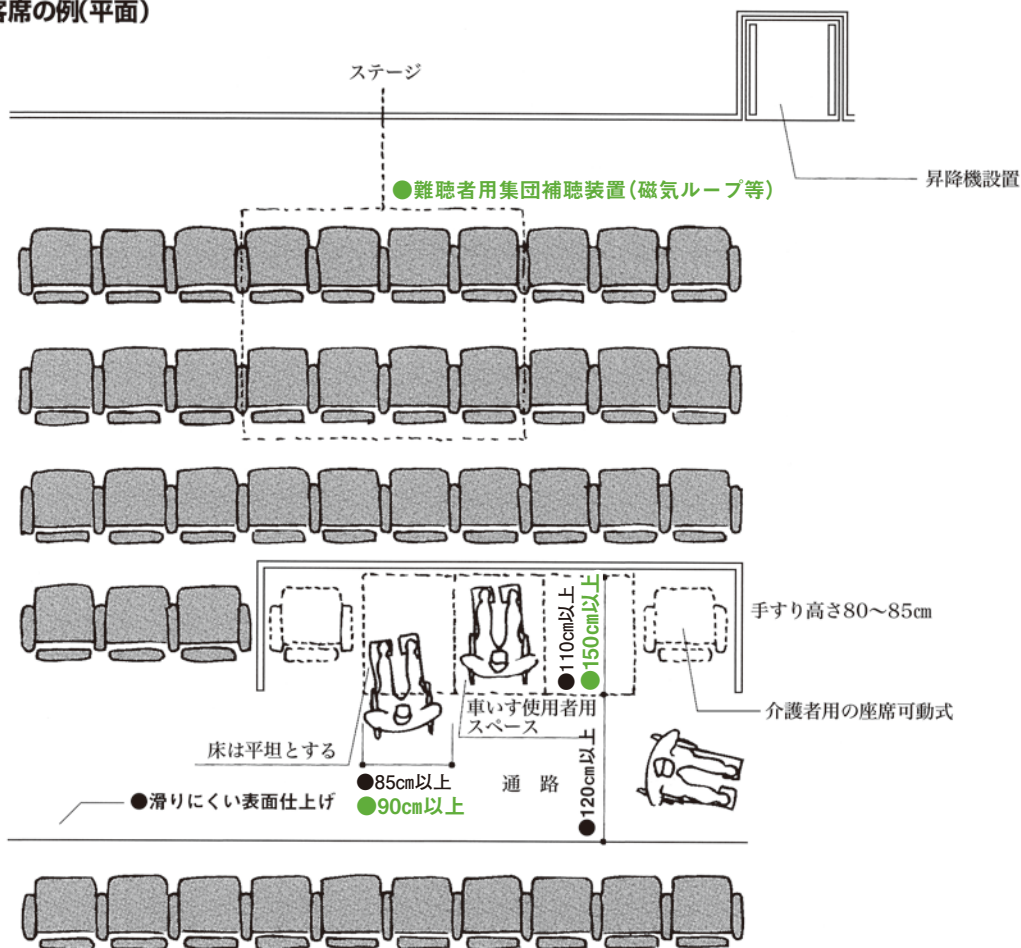
基本的な考え方▶

近年、余暇活動が重視されており、車いす使用者の利用に配慮した席を設けることが必要です。その際、出入口に到着しやすく、ステージ等を見やすい位置に設けるよう配慮することが必要です。また、聴覚障害者の利用に配慮することも望まれます。

整備項目	整備基準	より望ましい基準
客 席 (1以上)	<ul style="list-style-type: none"> ●車いす使用者用の席の設置 (有効幅 <u>85cm</u>以上、奥行 <u>110cm</u>以上) <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆車いす使用者用の席に至る 通路の構造◆</p> <ul style="list-style-type: none"> *有効幅 120cm以上 *高低差がある場合の傾斜路等の設置 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆傾斜路の構造◆</p> <ul style="list-style-type: none"> *有効幅 <u>120cm</u>以上 (段併設の場合 <u>90cm</u>以上) *勾配 1 / 12以下 (高低差が16cm以下の場合 1 / 8以下) *粗面又は滑りにくい材料による表面仕上げ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●(90cm以上、150cm以上) <div style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> * 150cm以上 (120cm以上) * ()内、緩和事項は適用しない </div> <ul style="list-style-type: none"> ●磁気ループその他の聴覚障害者に配慮した装置を設ける
解 説	<ul style="list-style-type: none"> ●整備基準及びより望ましい基準中、通路の有効幅120cmは、人が横向きになれば車いすとすれ違うことができ、松葉杖利用者が円滑に使用できる幅である。 	

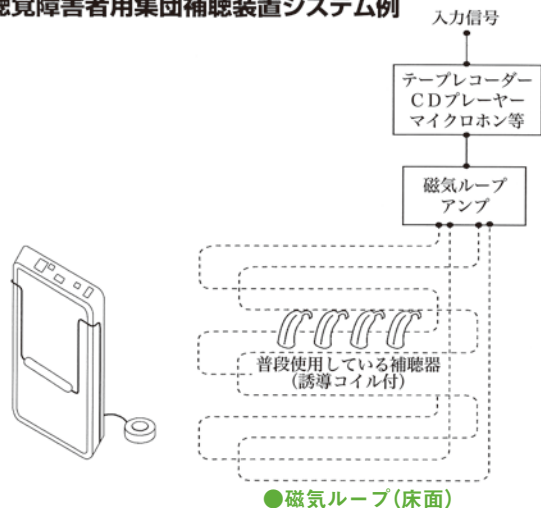
●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

■ 車いす使用者用客席の例(平面)

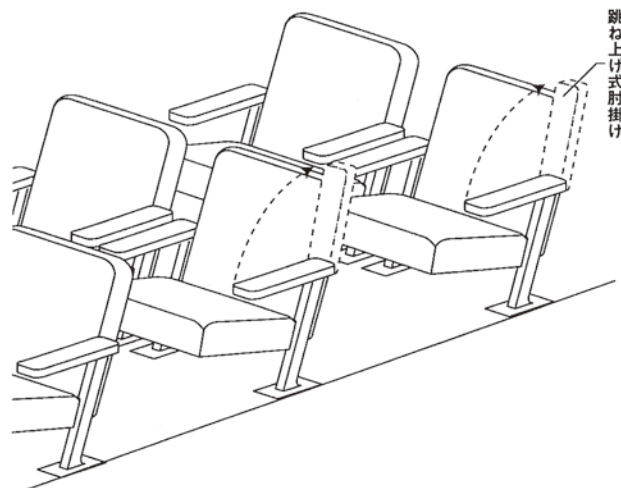


(出典:「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」国土交通省(一部加工して使用))

■ 聴覚障害者用集団補聴装置システム例



■ 跳ね上げ式肘掛け(通路側に設ける)





集会場等、博物館等、百貨店等、公衆浴場等、劇場等、展示場及び体育館等に適用

I-12

改札口及び レジ通路

基本的な
考え方▶

改札口及びレジ通路は、車いす使用者が通過できる構造にする必要があります。

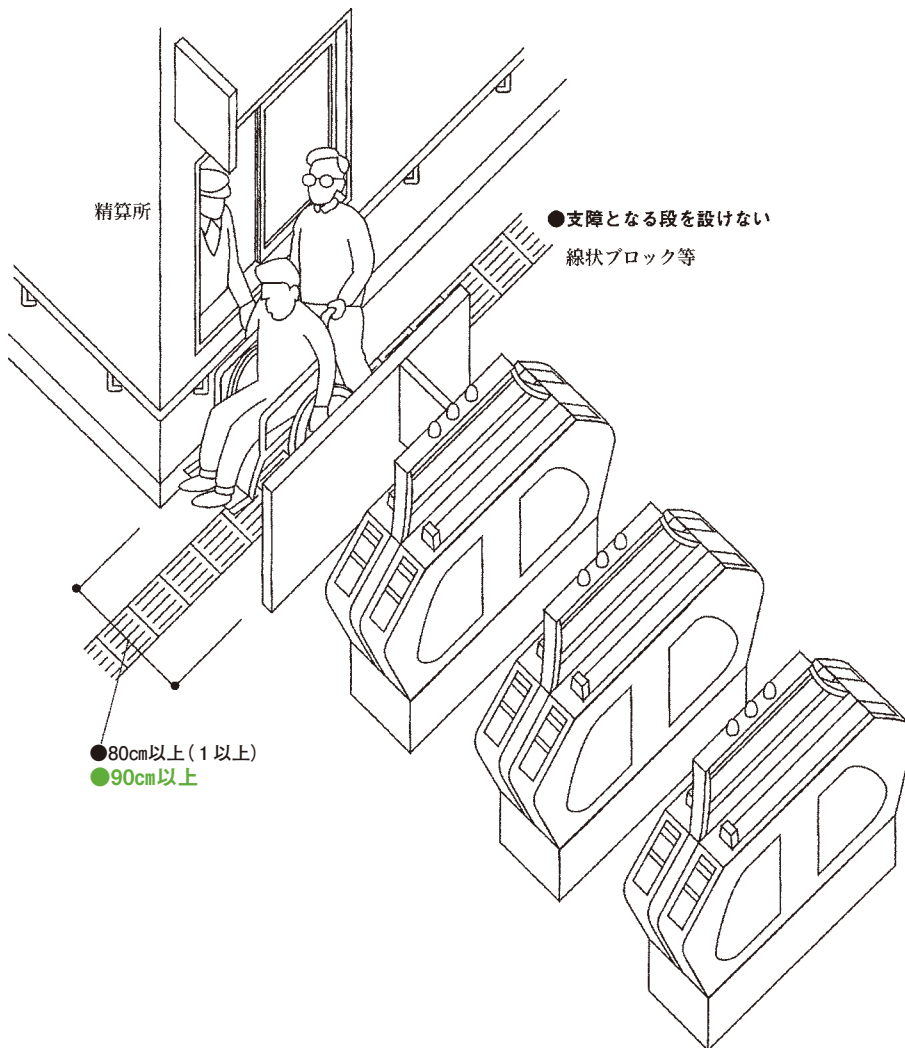
整備項目	整備基準	より望ましい基準
改札口及び レジ通路 (1以上)	<ul style="list-style-type: none"> ●有効幅 <u>80cm</u>以上 ●車いす使用者の通過に支障となる段を設けない構造 	<ul style="list-style-type: none"> ●90cm以上

解説

- 改札口及びレジ通路の整備基準は、出入口に準じて規定したものである。
- I-2の項(出入口)の解説を参照のこと。

●条例による整備基準、●より望ましい基準、細字は標準的な寸法や配慮の一例で参考となる内容

■ 改札口の整備例



■ レジ通路の整備例

